

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童通所支援事業所 てのひら守山二町町		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 10日		～ 2026年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	62	(回答者数) 35
○従業者評価実施期間	2026年 2月 15日		～ 2026年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	大型遊具で身体を動かす。(ボールプール、サイバーホイール、トランポリン)	指導員が見守り安全に気を付けて支援している。	更なる充実のために静の活動の幅を広げるための取り組みを行う
2	一人一人寄り添う支援	児童一人一人の特性を活かし困っている事を減らす為に定期的にカンファレンスを行っている。	カンファレンスで抽出した課題を職員全員に周知し個別的支援を行う
3	理学療法士、保育士がいる。	日々の活動で身体の動きを観察したり保護者のニーズに応じた支援をしている。保育士が工作、本の読み聞かせをしている。	専門職の知識を職員に共有し統一した支援を行う取り組みをする。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	報告、相談、連絡が円滑に行われない。	変則勤務の為伝達のずれが生じる。	連絡帳の活用と回覧の署名を徹底して行う。
2			
3			